



= 交通安全教室にて = 5月22日



として保存して下さい

しでがの通信

第121号

羽津小 P・T・A

編集発行

発行所 羽津小学校

「和」

PTA会長

宮田清志



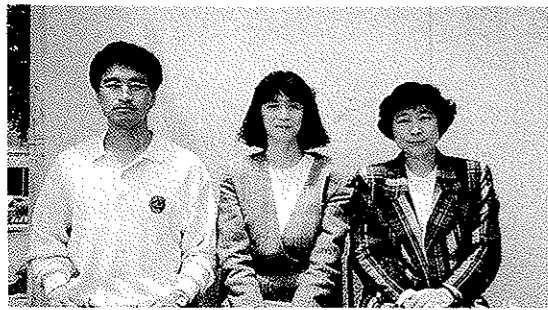
平素は、学校教育並びにPTA活動に、多大のご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。平成四年度のPTA会長の大役を仰せ付かり、少々戸惑っておりますが、私なりに一生懸命務めさせて頂きますので、宜しくお願い申し上げます。

ところで、PTA活動とは、先生と父兄との連携プレーであると

交通安全教室にて・会長挨拶……………1
 教職員紹介「みんな大事な子」……………2
 本部役員紹介・本部よりお知らせ……………5
 思い出のページ「修学旅行」・学年行事……………6
 一年生の一日……………8
 先生の思い出エッセイ……………10
 給食参観と試食会・研修旅行……………11
 前期児童会役員紹介・二期期行事予定……………12

思います。特に、ご父母の方の横のつながりが大きな位置を占めるのでは、ないでしょうか。決して本部役員だけの活動ではない事を、ご理解頂きたいのです。その為には、ご父兄の方一人一人がPTA会員である事を自覚し、学校行事にも積極的に参加して「和」というもの大切さを知ってもらいたく思います。第一に、親がそのような姿勢で取り組めば、自然と子供にも伝わり、望ましい親子関係も生まれるはずであります。どうか、保護者は元より、地域の皆様何卒宜しくご協力の程お願い申し上げます。





二年生担任

堀 弘幸 山本やよい 平子典子

「二年生は、一年生にすこし躰が生えたようなもの。」と軽く見ていたら大まちがい。一年間の学校生活をしてくいた自信にみちあふれている。また、興味のある事には、最後までかかわろうとする熱心さもある。しかし、一方では、学校生活に慣れてきているゆえ、慎重さや、集中力がなくなってきたり要領よくやってみようとする姿も見えかくれする。そこで二年生としては、「よく見、よく聞き、よく考える子」と「なかよくたすけあう子」を目標とし、授業での落ち着きや、集中力を求めたり、助けあうことで、よりよい仲間づくりをめざそうとしている。



一年生担任

岩田育子 市川晴美 川辺雅史

入学して間もないある日のこと。授業中にもかかわらず、「あーっ」という感嘆の声。教室の窓の外は一面の花吹雪だったので。授業を中断して、しばしみんなで見入りました。そんな姿を大切にしながらも、
(1) たくさん遊んでいろいろなことを吸収してほしい。
(2) 子どもは本来やりたがり屋さん。たくさん仕事をしていろいろなことを体得してほしい。
(3) みんなで力を合わせることに喜びを知ってほしい。
と願っています。そして、私共教師も、子どもの心を育てることのできる教師になれたらと思います。



四年生担任

大橋和弘 赤塚知子 小笠原孝子

四年生のみなさんへ
初めての南校舎の教室。そうです、みなさんは、大きく二つに分けると高学年の仲間入りですね。さあ、今年も勉強や運動に三つのことに気をつけて努力しましょう。
一、下級生が困っていた時は、やさしく手助けをしてあげましょうね。特に兄弟学年での活動をがんばるといいですね。
二、人の気持ちを考えながら、助け合ったり、教え合ったりしながら力を合わせて楽しい学校生活を送りましょう。
三、今年ががんばろうと決めたことを、一年間、ねばり強く取り組むようにしましょう。



三年生担任

生川茂子 中山幸治 河本武子

三年生に進級し、お子さん達は友達も増え楽しい学校生活を送っています。この一年間、心やさしい人間性豊かな子の育成のために教師とのふれあいを深めながら、望ましい学級集団作りに励んでいきたいと思っています。その内容は、次の四つです。
・自由にもが言える。ただし、人の心を傷つけることは言わない。(自由なふん囲気)
・お互い、少々の間違いは許しあう。(寛容)
・お互いに助け合って仕事や学習をする。(協同)
・基本的な学習や生活のルールをきちんと守る。(規律)



校長 清水英範

教職員紹介 みんな大事な子。

二月のある日、かぜをひいて病院へ行った時のことです。待合室で診察を待っていました。そこへ幼稚園児と三才ぐらいの男の子をつれたお母さんが来られました。子どもたちは、はしゃぎながら廊下で追いかけてくるを始めた。そのうちにスリッパを自動車に見たてて、廊下にすわったり寝ころんだりして遊び始めました。しばらくして母親に食べ物をねだりましたので、母親が売店でソフトクリームを買ってきて、子どもにわたしました。私は驚いて、そのお母さんに「子どもさんの手がよごれていますよ」と話した。

最近、家庭の教育力の低下がとてつもなく問題になっていますが、子どもを叱ったり、教えたりすることが、子どもの自主性を阻害するものと思ひこみ、放任の子育てをしている人もあるやに聞いています。そのことが、子どもたちの問題行動と深くかかわっているという学者もいます。
子どもは、遊びやいろいろな生活体験を通して社会のルールを学んでいきます。しかし、まだ成長の過程でもあり、未知のことも多くあります。
子どものまちがった行動に対しては、大人として、正しい判断で厳しく叱ることも必要ではないかと、つくづく感じた出来事でした。



専科

大川敦子 竹腰勝子 渡辺千栄子

私達、専科三人はお腹が大きいんです。でも中味が違って、一人はお肉、二人は赤ちゃんなのであります。「先生、赤ちゃんいっ生まれるの。」「動く。」など素直で人なつっこい本校の子どもはいろいろな事を話しかけてくれます。「あなた達のお母さんも大変だったのよ。生まれてからはもっとね。みんなは大事な大事な子よ」と話しています。母親としての経験や思いを教師として子どもに指導に生かし、子ども達から学んだことを我子にも生かしていきたいと願う昨今なのであります。



教頭 小井捷治

学校週五日制の問題は、豊かな現代社会における教育の在り方を問うものであり、家庭・地域週二日制の問題でもある。
今日求められている教育は、「自らを考え、主体的に判断し、立案計画のもとに行動し、自己評価とその反省の上に立って次の行動計画を立てる」と言う一連のサイクルを構築できる「自立する」学力を身につけた人間の育成ではない

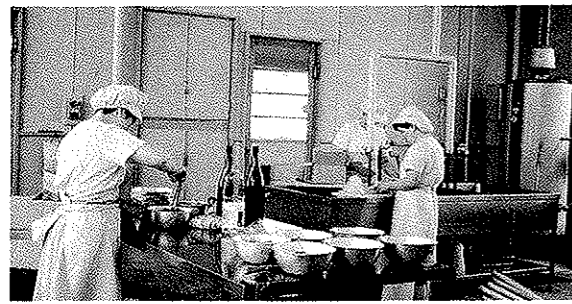
そのためには、学歴やテストに強い子偏重の考え方を、主体的な活動体験による「学習歴」重視へと改めていかなければならない。家庭・地域週二日制実施の今こそ、家庭や地域において、大いに種々の体験や遊びをさせていたいただきたい。何故ならば、体験を通して身につけた知識や技能・態度こそが、真に生きる力となり得ると確信するからである。
学校は、生涯にわたって学習し続けることができる基礎・基本となる力を培うために、全職員力を結集して参ります。



給食 田中たつ子 川村直美 伊藤 操 藤井久美子



用務 渥美 静子



毎日、ごくろうさまです

冬になると陽のあたらない底冷えのする給食室ですが、私達四人の心ふれあいは温かく、いつもきれいな花がいっぱい。なごやかそのもの……。この細胞で、今日も頑張っています。

朝「お早ようございます」と一声、三時すぎ「さようなら」と湯沸室をのぞいて帰る子、このふれあいを大切にやさしい心をうれしいと思いつ事に精を出しています。「ありがとう皆さん。」

児童や先生合わせて、約六〇〇人分の給食を四人で担当しています。



六年生担任 阿部敦子 杉田仁司 伊藤由美子



五年生担任 飯沼昌子 加藤美恵子 武内克彦

五年生の担任として、どの子も元気いっぱい、学年全体が仲良くいい子達——私達三人の最初の印象であった。ところがところが忘れ物のなんと多いこと！教科書、ノート、体操服等々、——今後の大きな課題である。勉強については、将来に向けて「学習の仕方」を身につけさせるため、宿題と並行して自主勉強を取り入れさせたい。

最高学年としての三つの気一人ひとりが豊かな個性を持ち多くの可能性を秘めている八十三名の君たち。何をやるにしても、元気（健康）でなければできませんね。これからは、心と体をしっかり鍛えてください。そして、その元気な体で、何事にもやる気を出して取り組んでください。いいかげんな気持ちでは、物事はうまくいきません。元気な体でやる気を出し、根気強く取り組みましょう。三つの気で、いろんな事に挑戦しましょう。きっと、今まで知らなかった自分が見えてきますよ。



養護、事務、事務補助 栗田百合子 西村隆文 奥田久美子



さくら 黒田義彦 岡山明子 中村幸代

●自分の仕事を一生懸命しようと思っています。お世話になって二年目、学校全体の流れも判ってきましたし、今年は何んでも一生懸命努力していこうと思っております。●「情けはひとの為ならず、報いをもとめてひとをたのみず」好きな言葉です。直接児童と接する事は少ないですが、人や物を通して成長に寄与したいと思っています。●「先生、切った」はまだ良い方。「先生、ケガ」「先生、シブ」等、なかなか「みて下さい」と最後まで言えない子どもたち。自分の健康に関心を持ち、自分の事ははっきり話せる子どもに成長してほしいと期待しています。

「おはよう」の声かけの時の日君の顔つきで、今日も楽しくやれそうかな？、ちょっと心配かな？と自分なりに感得できるようになってきました。朝の会での日君の仕事ぶりを見守り、休み時間や給食時にMちゃん、日君、彼らの交流学級のみならず一緒に行動すること、一日があつという間にすきていきます。五月中旬頃、帰る用意の出来た日君に「またあしたね。」と声をかけると、すばらしくいい笑顔で、びったりと寄り添ってきてくれました。きつく叱った事もあったのに、私の気持ちが分かってもらえたのかなと本当にうれしかったです。がんばろうね！

本部役員紹介



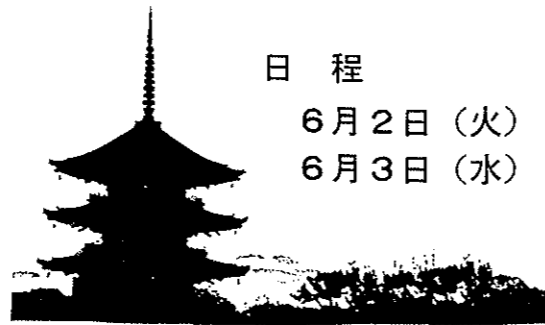
- | | | | |
|--------|------|------|------|
| 副会長 | 宮田清志 | 会長 | 森田泰司 |
| 書記 | 前野道生 | 副書記 | 森田泰司 |
| 監査 | 森田泰司 | 会計 | 森田泰司 |
| 環境整備部長 | 森田泰司 | 安全部長 | 森田泰司 |
| 補導部長 | 森田泰司 | 教養部長 | 森田泰司 |
| 学年学級部長 | 森田泰司 | 広報部長 | 森田泰司 |
| 顧問 | 森田泰司 | 書記 | 森田泰司 |

本部よりお知らせ

「みんなのスポーツ」ソフトバレーボールを楽しみたいと計画しています。二学期には、皆さんの参加をお待ちしています。

(詳しくは、本部まで)

想像以上だった大仏 六の二男子
 「うわぁ大きいなぁ図鑑で見ると約16mと言われてもびんごな
 いけどこんなに大きいんだ。」最初
 の印象はとも大きくてびっくり
 しました。ぼくは、大仏の裏が見
 たいと思っていました。裏側にま
 わって見ると雲にのった仏様がた
 くさん刻まれていた。なぜこんな
 にもいるんだろう。想像して見る
 とぼくと頭に仏様が雲にのり広い
 空を飛んでいる姿が浮かびました。
 バスに帰って来て資料を見て見る
 と戦国時代の争いで昔の六割にな
 っていることがわかりました。ぼ
 くは、昔は、もっと大きかったん
 だなあと思いました。



日 程
 6月2日 (火)
 6月3日 (水)



法隆寺 六の二女子
 「あっ調べたことと同じだ。」
 法隆寺見学で説明を聞きながら思
 いました。私の班は法隆寺のこと
 を調べたからです。次々に調べた
 ことが出てきたのでともうれし
 かったです。でも、まだまだ調べ
 ていないことがあって
 「歴史って、むずかしいのだな。」
 と思いました。
 一番楽しみにしていた中門を見
 て、想像よりりっぱで柱がとも
 すごかった。それに、五重塔は
 おしゃかさまの墓、法隆寺は甲子園
 の四・七倍と聞いてとつてもびっ
 くりした。自分が調べたことが合
 っていたのでうれしかったです。

心に残った清水寺 六の三男子
 ぼくは修学旅行で行った所で、
 一番印象に残ったのは、清水寺だ。
 特に、三重塔、音羽の滝、そし
 て清水の舞台が印象に残った。
 三重塔は、高さ30メートルと日
 本で一番高いカラフルだったか
 らだ。
 音羽の滝では、三つの滝の一つ
 一つちがったご利益に感心した。
 ぼくは頭がよくなる水を飲みまし
 た。なんだか水とは思えないくら
 いおいしい水でした。
 舞台では、何本もの柱をくぎを
 一本も使わずにとつても高い所に
 建ててあるのがすごいと思った。
 もう一度行ってみたいなあ。



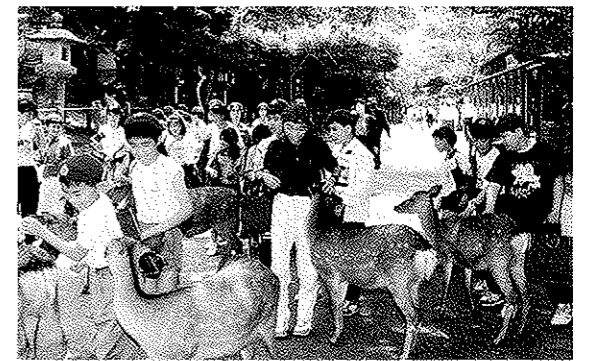
楽しかった思い出 六の三女子
 旅館について、ねる前、みんな
 でまくらなげをしました。思わず
 さわいでしまいました。おとなし
 い子もわいわい遊んでいました。
 私は、その時、この子でも、こん
 な、明るく楽しい所があるんだな
 あと思いました。こうゆう、修学
 旅行とか、みんなと、もつと仲よ
 くなれるきっかけになると思いま
 す。でも、もしかしらたら、この修
 学旅行で、つまらなかったという
 子がいたかもしれない。だから、
 そういう子を気づいてあげたい。

思い出のページ

修学旅行



楽しかった修学旅行 六の一男子
 ぼくが修学旅行で一番印象に残
 ったのは、何と言っても、金閣寺
 と清水寺です。
 金閣寺に着いた時、ぼくは、金閣
 寺ってどんなだろうと思いが
 ら歩いて行きました。そしたら、
 金色に光ったお城みたいな建物が
 建っていました。次は、清水寺に
 行きました。清水寺には、三つの
 滝が流れていて、一つは、長生き
 の水、もう一つは、ロマンスの水、
 最後は、頭が良くなる水でした。
 ぼくは、迷わず頭の良い水なる水を
 飲みました。とてもおいしかった
 です。あつという間の二日間です。
 とても、楽しかったです。

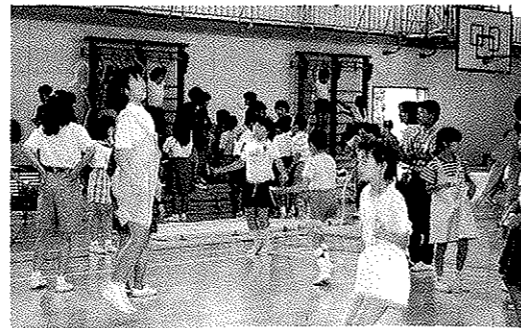


奈良での出来事 六の二女子
 「いたっ!!」
 私が修学旅行で初めて体験した
 ことです。何だと思えますか。こ
 れは修学旅行で一番心に残った事
 として一番痛かった事、それは、
 私が12年間生きてきた中で初めて
 「鹿」にかまれたことです。
 理由はかんたん。私が鹿せんべ
 いを持っていたから。
 感想/この世の中で動物と人間
 は仲良くしなくちゃならない。し
 かし、鹿も交流を深めるためやっ
 たとはいえ、やはりこれは人間を
 さずつける行動であつて...うっ
 ズキッ
 「いったーあつ!!」

おつかれさまでした!!



三年 けん玉作り (6/27)



五年 The オリエンテーリングゲーム (6/20)

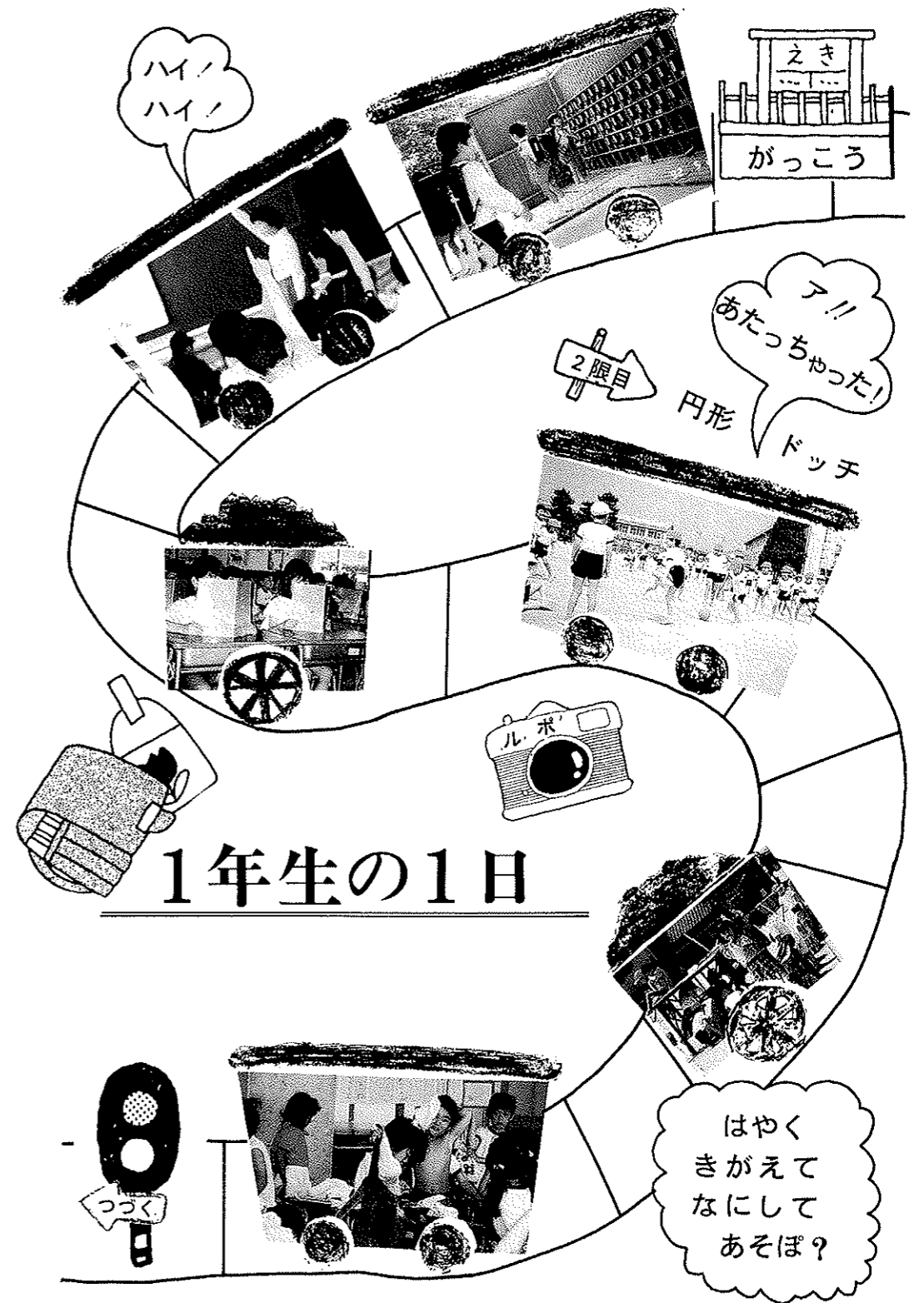


六年 親子ドッチボール (6/6)

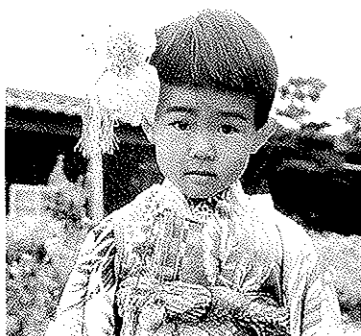


四年手押し車リレー・ドッチボール (5/23)

学年行事



四歳の頃

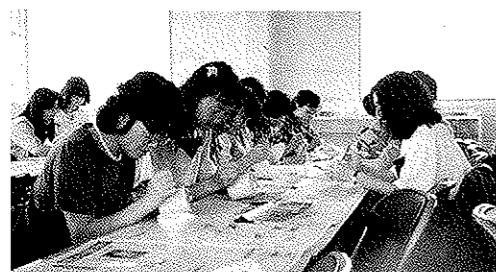


家の前には田んぼが広がり、少し歩けば小川や山という豊かな自然に囲まれて育った私は、まさに「田舎の子」。前髪は、眉上三センチにみごとに切り揃えられ、後ろは刈り上げという「ワカメちゃんカット」のお茶目な女の子でした。いくら昔でも、小学生になってからワカメちゃんカットにしている子はほとんどなく、私は何度も母親に「〇〇ちゃんだって髪の毛長いやんか。私も伸ばしていい？」と頼みましたが、相手にされず、結局四年生ぐらいまで、この髪型のままで過ごしました。

遊び場所はもちろん田んぼや山や川。れんげやしろつめ草で首かざりを作ったり、山の中のほら穴に秘密基地を造ったり、かぶと虫を採りに行ったり……毎日暗くな

研修旅行 6月9日 瀬戸、多治見方面

- 永宝寺の庭園がよかった。
- 一カ所でゆっくりした方がよい。
- 瀬戸の産地直売所に行きたい。
- 礼拝堂の壁画等が良かった。
- 食事も、日程もベスト、楽しくゆったりとした気分でした。

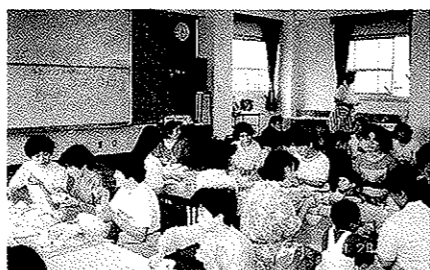


うまくかけるかな……

答えは最後のページです



るまで駆け回っていました。この様に伸び伸びと育ったせいも、よく大胆な失敗をしたもので。ある日、何だか変だなと感じながらも、身も心も軽やかに登校してしまいました。しかし、校門に入ったとたん、変なのはランドセルを背おってないからだ気づいたのです。大目玉を覚悟して先生に話したら、大笑いされました。



◀メニュー▶
変わりパン 牛乳
焼き肉 リヨネーズポテト

給食参観と試食会

六月二日

試食参観後、お家の方々に、家庭での様子や、感想を書いて頂きまとめてみました。

家庭では！

- ・食事に時間がかかる。
- ・好き嫌いが多く。
- ・食べる量にムラがある。
- ・ばっかり食いをする。
- ・箸の使い方が上手に出来ない。
- ・感想！
- ・味付けが薄味でおいしい。
- ・野菜が豊富、温野菜で食べやすい。
- ・メニューが豊富で喜んで食べる。
- ・子供に合った量を考えている。
- ・パンが大きい、小さいパンにして数で調整してほしい。
- ・パンに何かをつけてほしい。
- ・（ジャム・マーガリンなど）
- ・皿に顔を近づけて食べる姿がみられた。
- ・スプーンのにぎり方がよくない。
- ・毎日、箸を持たせるようにしてほしい。（先割れスプーン反対）
- ・米飯給食をふやしてほしい。
- ・堀木先生のお話を聞いて、牛乳パックなど、資源を大切にすることをいいお話でした。

どうも御協力
ありがとうございました。



先生のこと 思い出エッセイ

腕白小僧

わずか一万五千日程前、車も少なく、テレビや洗濯機、名四国道や霞の港もなかった時代のことです。

羽津小学校区は、志氏神社の森を中心に、東の海には白砂青松の霞ヶ浦海水浴場、西には垂坂山に続く畑や野原、北には東西に流れる米洗川があり、南には地場産業としての万古焼工場の煙突が立林



左より2人目 小学5年生の頃

母の手作りのおにぎりと水筒を持って、一日中自然と共に遊んだ時のことが、つい先日のことのように思い出されてきました。

限りなく進歩、発展を願う社会の変化とは言え「より速く、便利で、効率的に」だけでは不足しない「大事なもの」が単なる懐古趣味としてで

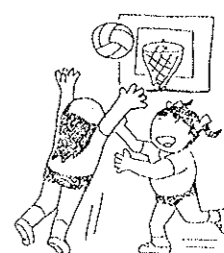
していたものの、のどかな田園風景が見られる地域でした。

野原や垂坂山は、腕白児の格好の探検場所でした。田の溝には、フナやドジョウ、ウナギやナマズが沢山いて、バケツに何杯もの魚が取れ、どろんこになって「かいてり」を楽しむ遊びもありました。

一年生の子も中学生の子も一諸でした。時として、ケンカをすることもありました。しかし、年上の子は年下の子をかばい、年下の子は年上の子の言うことをよく聞いて、一生懸命遊びました。



はなく、今、強く求められているように感じるのは、私だけでしょか。



小学生の頃に 夢中だったこと

小学校へ入学した頃の私は、消極的で、心配性で、内気な女の子でした。その私を大きく変えたのが、ミニバスケットとの出会いだと思います。

私の小学校には、サッカー、バスケット、スイミングの少年団があり、どのクラブも熱心に活動していました。その中の、ミニバスに私が入団したきっかけは、当時二年B組の担任だった先生一年生の若い男の先生にスカウトされたことでした。先生のおっしゃることは絶対守らなければと、神経質なくらい生真面目だった私は、その先生が軽く「一度練習においで。」と誘ってくださったのを真に受け



下段右 小学6年生の頃

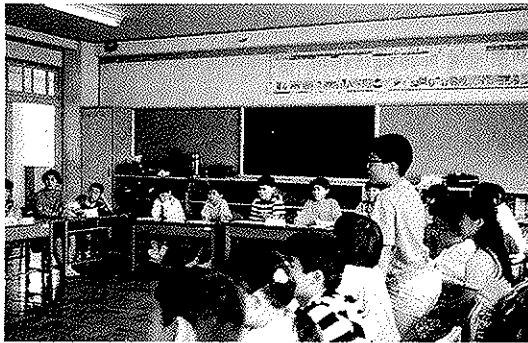
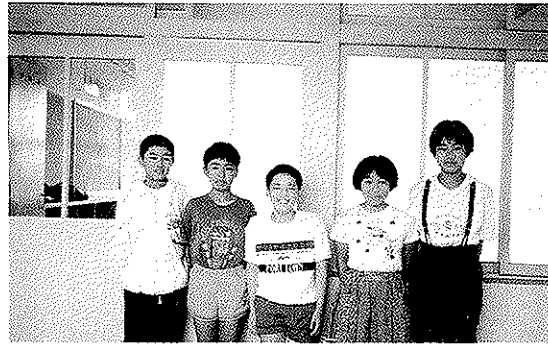
て、毎日課せられた宿題であるかのように、放課後の体育館に通いはじめたのでした。

それからは毎日が急に忙しくなりだしました。初めは半分義務感で厳しい練習に耐えていた私も、だんだんバスケットの楽しさのとりこになり、すっかりバスケットの魅力にとりつかれてしまいました。夢中でボールを追いかけながら、自分自身の違った面を自分自身が発見し、それが自信となったのでしよう。私の消極的な性格に大きく変化があらわれました。

写真の五人は、私と共にミニバスでがんばってきた仲間です。けんかもしたけれど、お互い励ましあってもきた仲間です。ミニバスの思い出と同じく、忘れられない友達です。

前期児童会役員紹介

会長 井上 真秀
 副会長 位田 誠和
 書記 中村 美恵子
 山本 紗都子



ハッスルする児童会役員

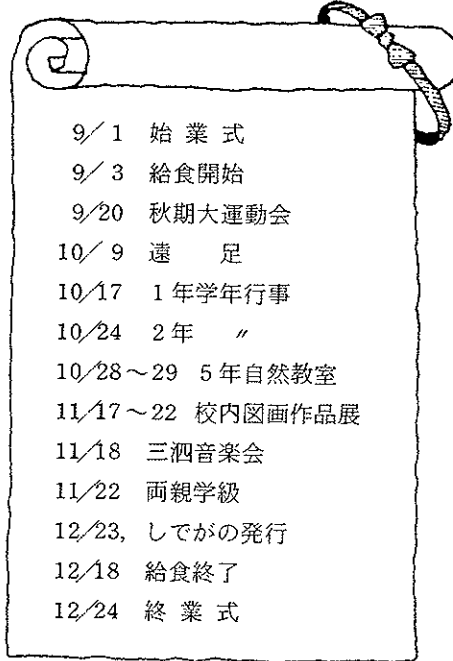
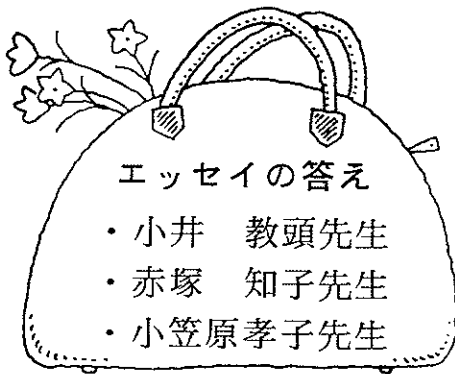
会長 井上 真秀

初めての役員会で五月二日の集
会の内容を話し会いました。

五月の集会はみんなの意見で今
年来ていただいた先生の秘密をあ
てようという事に決まりました。
児童会での説明でもみんな賛成し
てくれました。

残念ながら僕は集会の当日は出
席できなかったけど、第二回の児
童会の反省の時おもしろかったと
言う意見が多くとてもうれしかっ
たです。これからもがんばります。

2学期行事予定



編集後記

新しい広報部員ばかりですが、
 何とか、「しでがの(二一)号」を
 お届けすることができました。
 発行にあたり、皆様のご協力に、
 深く感謝致しております。

長い夏休みも
 すぐそこまで
 。。。元気で楽し
 い思い出を、た
 くさんつくって
 下さい。



広報部一同